

電気自動車をバーチャルパワープラントのリソースとして活用する V2G 実証事業を開始
～「需要家側エネルギーリソースを活用したバーチャルパワープラント構築実証事業費
補助金 (V2G アグリゲーター事業)」の採択決定～

2019 年 6 月 3 日

東京電力ホールディングス株式会社
東京電力エナジーパートナー株式会社
東京電力パワーグリッド株式会社
三菱自動車工業株式会社
株式会社日立システムズパワーサービス
静岡ガス株式会社

東京電力ホールディングス株式会社、東京電力エナジーパートナー株式会社、東京電力パワーグリッド株式会社、三菱自動車工業株式会社、株式会社日立システムズパワーサービス、静岡ガス株式会社の 6 社^{*1} は、経済産業省が一般社団法人環境共創イニシアチブを通じて公募する実証事業「平成 31 年度需要家側エネルギーリソースを活用したバーチャルパワープラント構築実証事業費補助金 (V2G アグリゲーター事業)」にコンソーシアムで申請し、5 月 30 日に採択されました。本日 6 月 3 日から 2020 年 2 月 17 日までの間、国内 5 箇所の実証サイトにおいて、実証事業を行います。

近年、太陽光発電などの再生可能エネルギー（以下「再エネ」）による出力変動や余剰電力の発生など電力系統の安定運用に影響を及ぼす課題が顕在化しつつあります。電力系統の安定化には発電所などによる調整が必要ですが、発電設備を保有・維持するにはコストがかかります。このような中、継続的な再エネ導入と電力系統安定化を低コストで両立する新たな仕組みとして、バーチャルパワープラント（以下「VPP」）の構築が進められています。

本実証事業では、電気自動車（以下「EV/PHEV」）を VPP のリソースとして活用することで、継続的な再エネの導入と電力系統安定化の両立を目指します。2021 年度以降には、電力系統と EV/PHEV の蓄電池との双方向間で電力需給調整を行う V2G 事業 (Vehicle to Grid) のビジネスモデルを構築し、事業化を検討してまいります。

本実証事業は、経済産業省が 2018 年度に開始し、共同申請 6 社が参画するのは今回が 2 年目となります。1 年目^{*2}の 2018 年度は、EV/PHEV と電力系統の間で双方向の電力融通を実現する実証環境を構築するとともに、電力系統安定化に寄与する有効性を確認しました（2019 年 2 月 26 日お知らせ済み）。

今回は、EV/PHEV の台数を約 40 台追加（合計台数 59 台）し、国内最大規模の実証環境を整えます。さらに、EV/PHEV のモビリティニーズを踏まえ、実証サイトに駐車している

EV/PHEV を、オンラインシステム上で同時制御することに挑戦いたします。

共同申請 6 社は、EV/PHEV の蓄電池を有効活用することで、再エネの導入を促進し、エネルギー・環境問題の解決に繋げてまいります。

※1 共同申請 6 社：

幹事会社 1 社

・東京電力ホールディングス株式会社（本社：東京都千代田区、代表執行役社長：小早川智明）

実証協力会社 3 社

・東京電力エナジーパートナー株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：秋本展秀）

・東京電力パワーグリッド株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：金子禎則）

・三菱自動車工業株式会社（本社：東京都港区、取締役会長 CEO：益子修）

実証協力会社 兼 リソースアグリゲーター 1 社

・株式会社日立システムズパワーサービス（本社：東京都港区、代表取締役 取締役社長：坂井章）

リソースアグリゲーター 1 社

・静岡ガス株式会社（本社：静岡県静岡市、代表取締役 社長執行役員：岸田裕之）

※2 平成 30 年度「需要家側エネルギーリソースを活用したバーチャルパワープラント構築実証事業費補助金（V2G アグリゲーター事業）」

以 上

別紙：V2G 実証事業の概要

*記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標または登録商標です。